

# 継続こそ力 部会活動⑥

## 西日本人事部会

# 私大協が教室を開放 メディア戦略で先物PR

西日本地区人事部会(二十八社加盟)代表幹事藤浦広明(エース)と副代表幹事鎌形光明(エース)は、先物取引に活用するためのイメージを払拭する。藤浦代表幹事は語る。



藤浦広明代表幹事(左)と鎌形光明副代表幹事

### シカゴ特番が大成功

西日本地区人事部会の活動の歴史は、先物取引に対する悪いイメージを払拭するための開きの歩みでもある。藤浦代表幹事は語る。

「地元企業に就職しようという学生が多いこの地区では、父兄の先物に対する誤解と偏見を取り除くことから始めなくてはなりません。TVQ九州放送でスポット広告を打ち続けているのもこのためです」

同人部会は福岡商品取引所、九州商取会、取引員協議会などと共同歩調で、メディアを使った先物偏見除去活動を続けている。実は平成八年に放映料を含め一千万円の予算を投じて一時間の特別番組を企画したことがある。この企画はタレントのデビュー・スペクターを起用して、シカゴに現地ロケし、CBO T(シカゴ商品取引所)の立会場でテレビカメラが入ったことで大評判になった。たしかに、特番は上々の出来栄で、採用活動だけでなく、営業にも使える内

容になっている。

「スポット広告といっても多額のお金がかかります。だから日ごろの打ち合わせにはお茶一杯出ません。忘年会もあります。大学側との親睦会も秋の総会を除いてやめました」と、鎌形光明副代表幹事(朝日ユニバーサル貿易福岡支店人事部次長)は限られた予算をテレビ九州のスポット広告一本に絞る。あとは原則手弁当で活動を続ける。

### まとめりがいい

こうした地道な日常活動が実を結んで、大学側が先物業界に閉ざしていた門戸を大きく開いてきた。九州私立大学就職協議会と各県の学生就職センターなどの後押しもあって、大学の教室を使って商品先物協会が会社説明会を開けるようになったことだ。国立大学でも、九州大学など一部の大学を除いて先物業界に歩み寄る流れになっている。

「うちのゼミの学生を一人頼みたいが——」などという話が舞い込むのは人事部担当者の一番幸わせな瞬間だと鎌形さん。人事担当者も営業マンと



話題を呼んだ特番制作

同じように日ごろは学校回りが欠かさない。一日に数校回ることもあるが、西日本地区は大学が分散立地しているので激しいフットワークが要求される。西日本地区人事部会はメンバー同士のまとまりのいいのも自慢のタネ。鎌形さんがこんなエピソードを明かしてくれた。

「長野オリンピックの時、ショートトラックで銅メダルをとった植松仁選手が福岡の出身で日ごろお世話になっている先生の弟子でしたが、人事部会のメンバーに呼びかけたらあつという間に五十万円のカンパが集まりました。鎌形の手コピになって、西日本地区の若者たちは、これからは内定者の落ちこぼれ対策と来春の採用に向けて、奔走する日が続く。それにしても、部会活動を物心両面から支えてくれた大賀忠直前福岡商品取引所理事長が今春、急逝されたのはショックだったと異口同音に言う。間もなく大賀さんの初盆である。部会のメンバーたちは大賀さんの遺徳を改めて偲ぶことだろう。

### ◆新社長◆

#### カネツ商事は杉本氏

カネツ商事は六月二十七日、杉本良隆取締役関西支社長に代表取締役社長就任を決めた。社内体制を刷新し、営業力を強化するのが狙い。清水清社長は代表権のある会長に就任、業界活動に重点を置く。



杉本 良隆(すぎもと よしたか) 昭和二十二年十月生、奈良出身、五十四歳。昭和四十一年奈良県立大宇陀高校卒、同四十五年日興証券入社、同四十六年カネツ商事入社、同六十二年西部カネツ物産取締役、平成十二年カネツ商事常務取締役、同十三年取締役。

#### ジャイコムは高橋氏

ジャイコムは六月二十七日、高橋滋取締役の代表取締役社長就任を決めた。田川洋社長は代表取締役会長に就任した。高橋新社長は日本ユニコムの前副社長、ジャイコムが日本ユニコムグループ入りして三年経ち軌道に乗ったためトップ交代に踏み切った。



高橋 滋(たかはし しげる) 昭和二十二年二月生、五十四歳。東京都出身。昭和四十四年神奈川大学経済学部貿易科卒。同年誠和商品入社、ブルーチップスタン、九静商事、江口商事など。

#### 千五百円で日本新

グローバリーの田村選手は六月二十二日、小田原市の城山競技場で行われたアコム中距離チャレンジの女子千五百メートルで、四分一〇秒三九の日本新記録を優勝した。

を経て平成六年ユニオン貿易(現日本ユニコム)取締役、同十二年副社長就任。

#### 大起産業は加藤氏

大起産業は、六月十九日、経営陣若返りのため、加藤正治専務取締役の代表取締役社長就任を決めた。新井紀夫社長は代表取締役会長に就任した。

加藤 正治(かとう まさはる) 昭和二十五年生、静岡県出身、五十二歳。昭和四十八年日本大学経済学部卒、同六十二年取締役、平成八年常務取締役、同十二年専務取締役就任。

#### イー・コモディティは前田氏

イー・コモディティは六月十一日、前田芳廣取締役の代表取締役社長就任を決めた。飯田克己社長は取締役として残り、北尾吉孝会長は留任した。



前田 芳廣(まえだ よしひろ) 昭和二十八年四月生、四十九歳。熊本県出身。

昭和五十一年神奈川大学法学部卒、同年東京ゼネラル入社、平成四年東京ゼネラル常務取締役、同六年専務取締役、同十四年イー・コモディティ取締役就任。

#### 東陽レックスは青木氏

東陽レックスは五月三十一日、青木暁常務取締役の代表取締役社長就任を決めた。小川繁社長は代表取締役会長に就任した。先物ビッグバンを控えて経営陣の若返りを図った。



青木 暁(あおき さとる) 昭和二十五年二月生、五十二歳。山梨県出身。昭和四十七年千葉商科大学商経学部経済学科卒、同六十年石原産商(現東陽レックス)入社、平成三年取締役就任、同十年常務取締役。

### 小林本因坊、知念棋聖を破る

#### 女流プロ「頂上卓碁対局」

女流プロ棋士による「頂上卓碁対局」(エース)と交易企画が六月十五日、エース交易本社ホールで行われた。小林泉美(女流本因坊)と知念かおり(女流棋聖)が対決、激しい力碁となったが、小林本因坊が中押し勝ちした。当切切の対局は、人気女流棋士の対決とあって、ひと目見ようと約二百人の観客が押し掛けて、小林千寿五段のユ一モアを交えた解説に会場は熱気に包まれた。

「頂上対局」のあと、女流プロ棋士十四人が来場者と対局(二人四面打ち計十六面)するアトラクションがあった。先物業界の囲碁愛好者でつく「石心会」(多々良義成会長)の代表も腕自慢を披露、多くのサポーターの声援をよそにあえなく散り果てた。



女流プロ棋士による「頂上卓碁対局」(エース)と交易企画が六月十五日、エース交易本社ホールで行われた。小林泉美(女流本因坊)と知念かおり(女流棋聖)が対決、激しい力碁となったが、小林本因坊が中押し勝ちした。当切切の対局は、人気女流棋士の対決とあって、ひと目見ようと約二百人の観客が押し掛けて、小林千寿五段のユ一モアを交えた解説に会場は熱気に包まれた。